

令和 8 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 久留米筑水 高等学校

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「地域や社会で活躍するスペシャリストの育成」 ～「Only One(唯一の学校)」から「Special One(特別の学校)へ」～ 教育基本法並びに学校教育法に則り、勤労観・職業観、豊かな感性や創造性と自立心と他者を尊重する心を養えるよう組織的・計画的な教育活動を行い、人格の完成を目指す。 久留米筑水高校に学ぶことを誇りとし、「農業・福祉・調理の分野における専門的な知識や技術を身に付け、心豊かな職業人としての使命感や誇りを持つ人材を育成するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら社会の変化に対応できるスペシャリストの育成に導く。」 このことにより、学校創立120周年を見据え、常に「挑戦する学校」として、保護者・地域に信頼され、地域に求められる学校づくりに邁進する。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を確立し、基礎学力の向上を図ることで、将来を切り拓く力 ○社会における自己の役割を認識し、自他を尊重する態度 ○課題解決に向けて前向きに挑戦し、主体的に取り組む力(チャレンジ力) ○「農業」「福祉」「調理」の専門力、並びに地域を大切にし、地域に貢献できる能力と態度
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着を図るため各専門分野の基礎から応用に向けた段階的学習カリキュラムの編成 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業時にグループワーク、討議、発表等の導入 ○生徒一人一人を大切に、個別最適な学びの実現に向けた少人数や習熟度別授業の導入とICT活用 ○自ら課題を発見し解決していく資質・能力の育成
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○協働と奉仕の精神に富み、人権を尊重する心豊かな人 ○社会の変化に対応できる柔軟な思考を持っている人 ○学習活動、学校行事、部活動、探究活動などに意欲的に取り組む人 ○「農業」「福祉」「調理」の各分野の知識・技術の習得や資格取得に対して意欲的に取り組む人 ○地域や社会に貢献し、人の役に立ちたいという気持ちを持つ公共心あふれる人

学校運営計画(4月)

学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>○成果</p> <p>1 ICT機器やオンライン学習支援ツールを活用し、個別最適な学びや協働的な学びに関する教育活動を校外外に広げることができた。</p> <p>2 計画的な職員研修会の実施により特別な配慮を要する生徒への理解ときめ細かな生徒指導を実践できた。</p> <p>3 農業科では農業クラブ九州大会出場・ワンヘルス国際フォーラムでの発表や、食物調理科では全国レベルの調理コンテスト受賞、社会福祉科では介護福祉士国家資格の2年連続全員合格の達成など、各科の魅力ある教育課程による学習成果を積み重ねることができた。</p> <p>○課題</p> <p>1 社会的自立の基盤となる確かな学力の育成と実践力の向上</p> <p>2 幅広い人材育成とキャリア教育の充実による希望進路の実現</p> <p>3 他者理解と対人コミュニケーション能力の育成</p> <p>4 令和9年度創立120周年を見据えた教育活動の充実(教育力の向上やワンヘルス教育等による校内での教育活動の充実)</p>	<p>ICT(AI含む)を活用した学習支援の充実により、基礎的な学力の定着を図る。そして、社会的自立の基盤となる確かな学力と自ら学ぶ力の育成を目指す。</p>	<p>基礎学力の定着に向け、1時間の授業を大切に授業改善や充実に努め、生徒理解に基づいた観点別学習目標の設定と指導により、対話的で深い学びと学習評価の場面を明確化した授業を行い、確かな学力の育成を図る。</p>	
		<p>ICT機器やオンライン学習支援ツールを活用した多様な学びにより、主体的で、個に応じたきめ細かな指導を行うとともに、災害や感染症等で登校できない場合でも生徒の学びを止めない。</p>	
	<p>農業・福祉・調理の専門分野におけるスペシャリストの育成に加え、社会の状況を踏まえた幅広い人材を育成するため、キャリア教育の充実を図り、第一希望の進路実現を目指す。</p>	<p>各学科等での学びの特色を生かし、資格取得やコンテスト・各種競技等へ向けた指導を充実し、キャリアアップを図る。</p>	
		<p>3年間の継続的・組織的な指導体制のもと、効果的な現場実習や外部人材の活用により生徒の進路意識を高揚させ技能を習得させる。</p>	
	<p>規範意識の高揚と対人コミュニケーション能力の育成を図るとともに、自律心と自分と異なる他者への理解と思いやりのある心豊かな人間性の育成を目指す。</p>	<p>各学科において、将来のスペシャリストにふさわしい専門知識と技能を身に付けさせつつ、幅広い職種に対応できる勤労観と職業観を育成する。</p>	
		<p>生徒の希望進路決定100%の実現に向け、企業及び大学等との連携をとおり、生徒の興味・関心及び適正を重視した進路指導を行う。</p>	
		<p>挨拶、時間厳守、礼儀作法、整理・整頓、頭髪・服装、スマートフォン等のマナーアップ指導を全職員で徹底する。</p>	
		<p>全教科・領域、学校行事、ボランティア活動等において、対話的な活動を位置づけ、自尊感情の育成、自律心と相手を思いやるコミュニケーション力の育成を図り、いじめの撲滅と人権意識を高揚させる。</p>	
		<p>担任、学年、学科相互や、外部機関との情報共有を図り、SC、SSWや保護者等との連携した教育相談体制のもと、中途退学者を減らす。</p>	
		<p>ワンヘルスの視点を盛り込んだ教育活動をとおり、5つの学科それぞれの魅力を高める授業改善に努める。</p>	
	<p>学校全体が一体となるワンヘルス教育を盛り込んだ体験活動等をとおり、生き生きと学ぶ生徒の姿を地域や中学校へ積極的に発信する。</p>		
	<p>「学びの多様化」における改善点を促し、関係分掌に連絡し、改善できる取組を実践する。</p>		

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務課	主体的・対話的で深い学びの実現(授業改善の推進)	ICT機器を用いて、効率的・効果的な授業実践を図るとともに、「個別最適化」の実現を図る。	学校生活アンケート 学校満足度アンケート	
		学習意欲の向上や思考力・判断力・表現力の向上、学習内容の定着に努める。		
		観点別評価や遠隔授業の取扱い等についての理解を深め、適切に実施する。		
	基礎学力の定着の定着と学習習慣の確立	観点別評価に基づく指導と評価の一体化を図り、授業改善と学習改善につなげる。	授業アンケート	
	教科担当者等を通じて、生徒情報等を共有するとともに、学習内容の定着の分析および指導方法の改善を図る。			
広報情報課	地域を中心に、より多くの方に幅広く理解を得られるような広報活動の実施	定期考査や観点別評価の実践におけるサポートを各学年において実践する。	中学生体験入学等のアンケート	
		魅力が伝わる学校ホームページ・学校案内パンフレット作成する。		
		各種学校説明行事に関する戦略的な企画、運営を図る。		
	生徒・教職員を対象としたIT関連知識・技術の習得推進	中学2年生を対象とした説明会(3学期)を企画・運営を図る。	職員アンケート	
		学校ホームページ・SNS等を活用した積極的な情報発信を行う。		
		授業におけるICT機器の積極的な活用を推進する。		
生徒指導課	生徒の自己指導能力の向上及び生徒が主体となる教育活動の推進	職員間の情報共有による問題行動の未然防止と早期発見・早期対応を図る。	・体育祭に関するアンケート ・規範意識育成学習に関するアンケート	
		体育祭に向けてのリーダー育成と、計画・運営・実施の協力体制の構築を図る。		
		豊かな人間性の育成と、規範意識醸成のための適切な講演会の実施を行う。		
	安全安心な学校づくりによる自己有用感の育成	生徒主体の生徒会活動及び部活動運営による学校の活性化と、褒める・認める指導の取組を図る。	・いじめに関するアンケート(10回) ・学校生活アンケート(2回) ・いじめ早期発見のための家庭用チェックリスト(3回)	
		情報モラル教育を含めた規範意識育成に関する学習を充実させ、明るく健全な対人コミュニケーション能力の育成を図る。		
		学校いじめ防止基本方針の共通理解による、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を行う。		
保健課	学習環境の整備と保全を心掛けた美しい学校づくり	生徒の美化意識の醸成を図るため、美化コンクールを実施する。	美化コンクールの実施(2回)	
		ゴミの減量化に向け、ゴミ集積所でのゴミのチェック、分別を徹底する。		
		適切に掃除が行き届くよう、掃除区域の見直しを行う。		
	教育相談・特別支援教育の充実	個々が抱える悩みや問題を把握し、組織的に対応するため、教育相談委員会を開催する。	学校生活アンケート(2回)	
	講演会や保健だより、SCの活用等を通して、他者との関わりやストレス対処法についての教育を行う。			

進路指導課	進路意識の変容: 自己理解を深め、将来を主体的に選択する力を養う	ガイダンスや卒業生講話を通じ、自己の能力・適性を見つめ直し、高い志を抱かせる。	進路ガイダンス希望調査 卒業生との進路懇談会 オープンキャンパス・職場見学実施アンケート	
		「ワンヘルス教育」を軸に、専門性の価値を再認識し、社会に貢献する視点を身につける。		
		実習、職場見学、OC等の「本物」に触れる体験を通じ、「なりたい自分」を具体化させる。		
	進路保障の基盤強化: 確かな学力と、表現力を武器に「第一志望」を勝ち取る	農水大学支援講座受講アンケート 進路希望調査 資格講座(課外)受講アンケート		
朝学や到達度テストを連動させ、スモールステップを経て基礎学力を醸成する。				
小論文・プレゼン指導を体系化し、入試や社会で通用する論理的思考力と自己発信力を磨き上げる。 資格取得や個別指導を強化し、第一志望進路実現を最後まで諦めない粘り強い学力を育成する。				
企画庶務課	各部・課、学科等との連絡調整を行い、円滑な校務運営に努める	企画庶務課が企画・運営する各行事について、関係部署との連絡調整を密に行い、円滑な実施に努める。	行事に関する職員アンケート	
		学校要覧や新入生のしおり等の資料を各課や事務室と連携しながら作成する。		
		課内の業務内容を可視化して整理し、課内の連携強化に努める。		
	PTAと連携し、地域に根ざした教育活動を推進する	PTA役員・理事の意見や感想		
PTA執行部役員と各委員会の活動をサポートする。 PTA活動を通じ、本校教育内容を発信する。				
夢プロジェクト課	生徒のワンヘルスに対する意識の醸成と実践力の育成	ワンヘルスの視点を取り入れた教育活動を通して、5学科の魅力を高める授業改善に努める。	・ワンヘルスに関するアンケート調査 (1年生 年2回) (2、3年生 年1回)	
		ワンヘルス学習(HR)を通して、ワンヘルスに対する理解を深め、各学科や教科の学びとつながられる素養の育成を図る。 生徒のワンヘルスに対する意識調査を行い、その変容を確認し、ワンヘルス推進教育の改善につなげる。		
	学科間や地域との連携によるワンヘルス教育の深化と魅力ある学校づくり	夢プロジェクト担当者等を通して、各学科や教科の取組の進捗状況確認や新たな取組の企画・立案を行う。	各学科の取組に対する感想、アンケートなど (対象:各学科の生徒、交流施設等)	
		各学科のテーマ設定に基づいた教育活動の充実を図るために、各学科や教科、地域をつなぐ支援を行う。 多方面と連携するために、ICT機器等を有効活用する。		
図書研修課	「確かな学力と自ら学ぶ力の育成」のための授業改善及び職員の資質・能力を高めるための職員研修会の実施	授業アンケートを実施し、その結果を分析して授業改善に取り組む。	・授業アンケート (各教科担当者:年2回) ・各職員研修会でのアンケート	
		積極的な授業参観を促し、互いの授業力を高め合う契機にする。		
		本校の教員として求められる資質能力の向上に繋がる校内研修の企画・立案をする。		
	図書の充実・図書館の利用向上及び図書委員会活動の活発化	生徒・教員のニーズを把握し、蔵書の充実を図る。	・希望図書等のアンケート	
		図書館利用者の増加を目指すために、読書週間等のイベント充実を図る。		
		委員会会議の定例化を図り、委員会活動の定着と周知に努める。		

第1学年	基礎学力および学習習慣の定着化	スタディサプリの活用、自ら主体的に行う力を身につける。	スタディサプリア、授業アンケート、保護者会(面談)	
		自ら課題を見つけ、振り返りなどを行いながら学習に取り組む態度を育てる。		
		基礎内容の確実な理解と定着を図る。		
第1学年	基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚	指示を待つのではなく、状況を見て何をすべきかを自ら考え、選択できる力を養う。	学校満足度アンケート	
		自分の役割や立場を理解し、最後までやり切る姿勢を身につける。		
		集団の一員としての自覚を持ち、相手を尊重した言葉使いと節度ある行動を習慣化する。		
第2学年	基礎学力の定着	朝の10分間学習でのスタディサプリア実施率を100%にする。	スタディサプリア、授業アンケート、保護者会(面談)	
		保護者への連絡や面談を行い、家庭との情報の共有および指導の連携を図る。		
		考査前に学年による学習会を行い、個々に応じた指導を充実させる。		
第2学年	生徒の主体的な取り組みの推進と自律心の育成	各行事において、計画・運営等を生徒中心に活動する場面を設定する。	学校満足度アンケート	
		体育祭や修学旅行の指導を充実し、帰属意識や連帯感を高める。		
		生徒会活動や農業クラブ活動への積極的参加を促し、リーダーを育成する。		
第3学年	希望進路の100%実現	生徒との個人面談を年2回以上実施する。	最終進路決定状況	
		応募前職場見学、オープンキャンパスへの参加を促す。		
		学年、学科、保護者との連絡を密にし情報を共有する。		
第3学年	自ら考え行動する力を養う	集会等において指示がなくても自分たちで集合・整列・点呼できるように指導する。	学校満足度アンケート	
		体育祭等の行事において最上級生としてリーダーシップを発揮できる力を養う。		
		凡事徹底(書類等の正確な記述、提出期限などを当たり前を守るように指導する)。		

農務	農業クラブ活動の活性化	生徒・保護者との共通認識を図り、希望に合う進路を決定させる。	実習記録簿 活動記録簿 インターンシップ報告書等	
		進路指導課と連携し、進学・就職それぞれへの対策を充実させる。		
		地域及び企業との連携を図り、プロジェクト学習等の充実を図る。		
	情宣活動及びワンヘルス教育の活性化	専門分野における生徒の興味・関心を引き出し、生徒自身の課題解決を図る。	各学科の取り組みについての情宣活動、地域への販売活動及び本校取組 際等での教育活動の実践	
		ITCやオンライン等を活用し、先端農業の学習形態に取り組む。		
		ホームページに学習活動を掲載し、各学科の取り組みを発信する。		
園芸技術科	確かな学力の育成と実践力の向上を図る	朝学の積み重ねを徹底し、個々の学びを伸ばす。	授業アンケート 実習記録簿	
		毎時間のノート・レポートの内容指導と提出を徹底し、思考力を身につける。		
		教材の作成・工夫、ICT、実験・実習などをとおして、わかりやすい授業内容を展開する。		
	正しい勤労観、職業観を育成する	社会人招聘、現場実習等を実施し、進路目標の充実を図る。	講習会レポート 現場実習報告書 進路アンケート	
		実験・実習を通して、安全教育や危機管理能力を身に付けさせる。		
		進路相談や面接指導などを通して、進路意識の徹底を図る。		
食品流通科	生徒の進路保障に向けて魅力ある授業の充実を図る	キャリア教育の一環として社会人講師・インターンシップなどを充実させる。	授業アンケート 実習記録簿	
		わかる授業・実習を実現するため、ICT等を積極的に活用する。		
		農業クラブ活動の活性化(意見発表・プロジェクト研究・各種競技等)を図る。		
	地域と連携・協働した取組の推進と魅力発信を図る	学科の魅力ある授業・実習を(新商品開発・各種販売会・広報活動等)HP・インスタ等で発信していく。	授業アンケート 資格取得状況	
		地域と連携した取り組み(久留米市・地元企業・各種研究機関等と連携)を推進する。		
		資格取得の充実(食品衛生責任者・簿記・各種情報関係・漢字等)を図る。		

造園デザイン科	基本的な生活習慣と学習意欲の向上及び学力の定着を図るとともに、ワンヘルス教育の推進	基本的な生活習慣および頭髪・服装等のマナー定着の指導を徹底する。	授業アンケート 資格取得状況	
		人・環境・動物が共存できる体験活動を学科間・地域連携を行うことができる学習環境を整える。		
		各授業で記録時間を設定し、書く習慣を確立するとともに整理力を身に付けさせる。		
短大・地域・企業との連携を図り、専門力を高めた技術指導及びボランティア精神の高揚に努める		校外実習でボランティア精神の高揚に努め、日々の授業で専門力を向上することができる学習環境を整える。	実習記録簿 進路アンケート 現場実習報告書	
		進路実現に向けて企業・大学と連携し進路意識を定着させ、早期の進路指導を推進する。		
		地域行事等に積極的に参加し、学習成果を発表することができる学習環境を整える。		
社会福祉科	基本的な生活習慣と社会性の確立を図り、基礎学力の向上と専門性の定着を目指す また、ワンヘルス学習を通じた地域交流の定着化	挨拶、時間厳守、礼儀作法、頭髪・服装等のマナー指導を徹底する。	授業アンケート、職業調査・アンケートなど	
		個性や習熟度に応じた指導と反復学習を用いた指導を行う。介護実習など体験的活動に必要な表現方法や問題解決能力、言語能力などの能力・技術の習得に繋げる。		
		健康、環境、人物、動物などの視点にとどまらず地域視点で取り組めるワンヘルスの実践を目指す。社会に貢献し奉仕(人の役に立つ)できる実践力を育てる。		
希望進路実現と介護福祉士国家試験の100%合格実現		介護福祉士国家資格取得100%を目指す。(3年連続全員合格を目指す)	介護福祉士国家試験受験アンケート	
		自らの適性や興味をいかした進路実現、希望進路100%を目指す。		
		ICT機器等の学習支援ツールを最大限に活用し、多様な学びに繋げる。		
食物調理科	基本的な生活習慣の確立と社会性の向上を図り、専門分野の資格取得や検定合格を目指す	挨拶の励行と礼儀作法、頭髪・服装等のマナー向上を指導する。	実施調査アンケート 資格取得、検定合格調査	
		朝学で基礎学力の向上を指導する。		
		理論と実習・実技での学びが結びつくように指導する。		
ワンヘルスの実践と学科の魅力を発信する		調理に関わるワンヘルスについて各教科で学び、実践へと繋げる。	実施調査アンケート	
		他学科と連携を図り、山川小学校、山川子ども塾にてワンヘルスを実践する。		
		日頃の学習の様子をホームページやInstagramで発信する。		